

JNC株式会社水俣製造所



[JNC(株)ホームページ]



[JNC(株)公式Instagram]



JNCについて ～会社概要～



商号	JNC株式会社
創立	1906年1月
設立	2011年1月12日
資本金	311億5,000万円
従業員数(連結)	2,600名
売上高(連結)	1,371億円 (2025年度)
代表取締役社長	浅野 進

事業内容

JNC株式会社 水俣製造所は、有機合成を強みとする総合化学メーカーです。

有機EL材料、シリコン化合物、医薬・化粧品向けのライフケミカル製品、半導体材料、肥料など、主にBtoB（企業）向けの製品を製造・販売しています。

また、自社の水力発電所を活用したクリーンエネルギーの供給事業も展開しています。

水俣製造所の紹介 ～概要～

所在地：熊本県水俣市

敷地面積：約50万m²

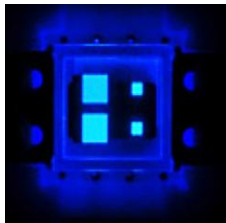
従業員数：約450名

主要製品：有機EL材料、シリコン化合物、樹脂製品、
半導体用洗浄液、クロマト充填材、
社内外受託 etc...

水俣製造所の紹介 ～概要～

水俣製造所で行っている事業

高機能材料



アグリ・ライフ
イノベーション



ケミカルマテリアル



グリーンエネルギー



エンジニアリング

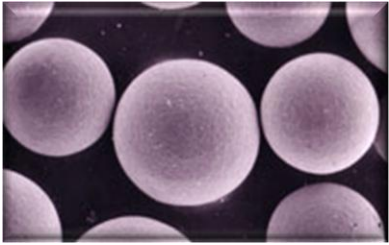


商 事

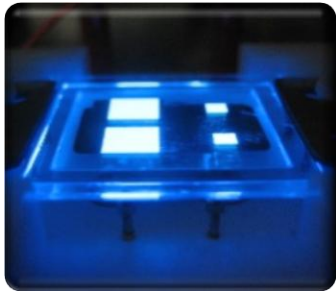


セルファイン(医薬向けクロマト)

セルフロー (化粧品原料)



有機EL材料



溶剤・香料原料

接着剤添加剤

有機合成原料

合成樹脂ライセス

ポリビニルアルコール樹脂

フォトリソレジストモノマー (半導体用)

ライフケミカル
Life chemicals



グリーンエネルギー
Energy

水力発電



サイアプレーン (コンタクトレンズ 原料)

サイアエース (エコタイヤ向け原料)

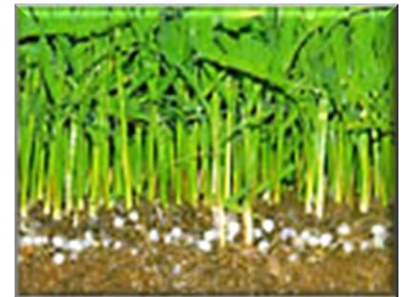
シリコン
Silicon



アグリ
Agricultural

肥料

CDU LPコート Jコート



ケミカルマテリアル
chemicals



ICTケミカル
ICT-chemicals



仕事内容

製造技術者

- ・モニター画面監視
- ・原料、中間製品の品質分析
- ・現場パトロール
- ・定期的な点検 など



電気・機械・ 土木建築技術者

- ・化学工場設備の保全管理業務
- ・工事施工管理業務
- ・工事取引先からの見積もり
収集および査定業務
- ・工事立案計画 など

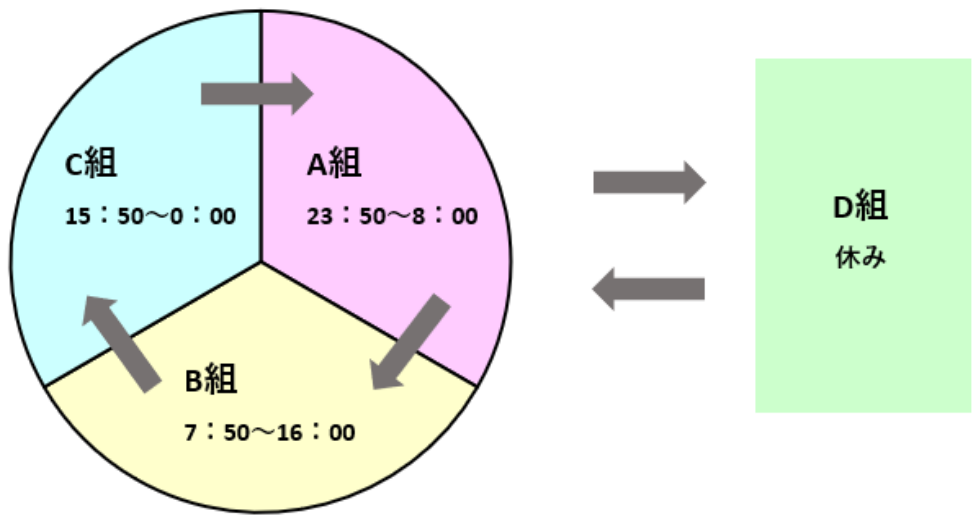


電気・機械技術者 (用役管理)

- ・発電所の運転保守管理
- ・各職場への配電
- ・ボイラー運転、蒸気の供給
- ・純水装置の運転、供給 など



就業時間 ～4組三交替勤務のサイクル～



勤務形態	始業・終業時刻	所定	休憩
日勤	8:00～16:40	7:40	12:00～13:00
三交替(1直)	7:50～16:00	7:00	
三交替(2直)	15:50～24:00	7:00	一括または
三交替(3直)	23:50～ 8:00	7:00	分割して70分

「JNCの特徴：実質3日毎に休みがある」

日付	3月20日	3月21日	3月22日	3月23日	3月24日	3月25日	3月26日	3月27日	3月28日	3月29日	3月30日	3月31日
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
A組	7:50～	7:50～	7:50～	23:50～	23:50～	23:50～	休み	15:50～	15:50～	15:50～	休み	休み
B組	15:50～	休み	休み	7:50～	7:50～	7:50～	23:50～	23:50～	23:50～	休み	15:50～	15:50～
C組	休み	15:50～	15:50～	15:50～	休み	休み	7:50～	7:50～	7:50～	23:50～	23:50～	23:50～
D組	23:50～	23:50～	23:50～	休み	15:50～	15:50～	15:50～	休み	休み	7:50～	7:50～	7:50～



福利厚生・会社のサポート

安心を支える 制度



「男性寮」寮費：6,500円＋共益費（1,700円）／月
（エアコン、共同ランドリー室）

「女性寮」寮費：6,200円（共益費なし）／月
（エアコン、洗濯機付き）

社宅 家賃：10,700円～12,800円／月
福利厚生賃貸アパート 家賃：30,000円／月

寮は
電気代・水道代

【無料】

「寮」 朝食300円 夕食550円

「弁当」 360円

「食堂」 ラーメン：300円、カレー250円、
うどん・そば：250円 など

「社員クラブ（居酒屋）」

働きやすさ



「テレワーク制度」

1週間に3日まで使用可能

「フレックスタイム勤務制度」

コアタイム 10時～15時

フレキシブルタイム 6時～10時
15時～22時

「諸手当・諸休暇について（一部抜粋）」

諸手当：通勤手当、住宅手当、時間外手当、交替手当など

結婚休：結婚の際、最大8日間を申請可

出産休：配偶者の出産日から2週間以内に3日間を申請可

育児休：子が1歳6ヵ月になるまで取得可（前年度実績：男性社員10名取得）

忌引休：親族の不幸時に申請可（付与日数は続柄により異なる）

キャリアを 支援



「資格取得支援」業務に必要な資格および社内指定資格については、会社が受験費用・交通費を負担します。

「奨励金制度」社内指定の対象試験に合格した場合、奨励金を支給します。（高圧ガス関連・危険物取扱者 など）

「自己申告」2年に1度、キャリアの希望を自己申告できる制度です。

「通信教育」年2回、社員を対象に通信教育を実施しています。業務に必要なスキルや興味分野の講座を受講でき、
所定条件を満たして修了した場合、受講料の半額を会社が補助します。

その選択に、

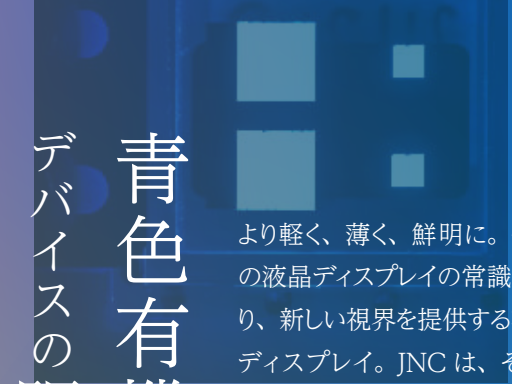
挑戦はあるか。





肥料が社会を救う。

高齢化と後継者不足に悩む日本の農業。2000 年に約 240 万人いた農業従事者は、2023 年には約 116 万人になり、1 人あたりの労働量が増えつづけている。これは高齢の農業従事者には酷だ。彼らの負担を軽くする方法はないか。見過ごすわけにはいかない。そのような考えから、施肥回数と施肥量を少なくし労働負担を軽くする、我々が独自に研究開発した次世代コーティング肥料は誕生した。



青色有機 EL で デバイスの 限界に挑め。

より軽く、薄く、鮮明に。それまでの液晶ディスプレイの常識を打ち破り、新しい視界を提供する有機 EL ディスプレイ。JNC は、その技術革新のカギとなる青色発光材料という最難関に真っ向から挑み、業界の先陣を切って突破した。その結果、現在ではデジタル機器のディスプレイ寿命は飛躍的に向上し、人々の生活は新たな次元へと変貌を遂げている。そして、現状に留まらず次の次元へ導くべく、今後も革新技術に挑戦し続ける。



アレルギー反応のない 美容コラーゲン を届けたい。

超高齢社会で美容意識が高まる中、従来の動物由来のコラーゲンを用いた化粧品には、無臭化、安全性、耐熱性に問題があった。そこで、我々は非動物由来の純度 100% の高分子コラーゲンを開発することを決意。3 重らせん構造を有する全く新しいこの高分子コラーゲンは、それまでの問題をクリアして美容業界に革新をもたらした。



化学メーカー の考える 水力発電とは。

1906 年の創業以来、JNC の水俣製造所の主要エネルギー源は、一貫して自社水力発電所の電力である。合計最大出力は 97・990 kW（2024 年 3 月現在）で、年間発電量は一般家庭約 14 万戸分に相当する。我々の発電設備は無人運転を行っており、水俣製造所にて 24 時間体制で遠隔監視制御している。創業から 100 年以上、これまで培ってきた運転管理技術を活かし、クリーンエネルギーの安定供給によりサステナブルな社会の実現に貢献する。

JNC は挑戦を選ぶ

安定を求めるか、未知に賭けるか。君の選択が未来を形づくる。JNC は 1906 年の創業以来、化学産業のリーダーとして、古い常識を疑い、革新を追い求め、若者たちに挑戦の機会を与えてきた。君の潜在能力を解き放ち、成長への扉を開く。そんな環境が JNC にはある。ここに挙げた事例は、その一部にすぎない。さあ、どうする。我々は挑戦を選ぶ。君の未来は、ここから始まる。



赤ちゃんに 大人の 本気を 見せてやる。

我々は、「ES 繊維」として知られているポリオレフィン系熱接着性複合繊維の商業生産に、世界で初めて成功したパイオニアでもある。この技術を活かした社会貢献は何か。考え抜いた先に衛生材料があった。これから生まれてくる赤ちゃんのために、ES 繊維を使用した紙おむつ用エアスルー不織布を開発。肌への刺激が少なく、柔らかく、安全性が高いと好評で、今ではなくてはならないおむつ用素材として定着している。



賞味期限 vs フードロス問題

日本の年間フードロス量は約 523 万トンで、1 人あたり約 64 キログラムで世界第 6 位である（2023 年度調査）。この問題の打開策として、我々化学メーカーにできることはないのか。この思いから端を発して、我々はポリリジン製剤を利用して、白ごはんからお惣菜まで、あらゆる食品を静菌。賞味期限を延ばす技術で、この国のフードロス問題に 대응していく。



化学を飛び越え プラント設計?!

JNC は「化学」という枠にとらわれない。その領域は、グループ企業を通じてプラントの設計から建設管理、メンテナンスにまで広がっている。DX、IoT、そして AI — 世界はかつてないスピードで変化している。多様な現場で培ってきたノウハウに加え、最新の AI や 3D 技術を駆使し、持続可能な社会と豊かな生活を支える基盤を構築するのも、これからの JNC のプラントエンジニアリングの仕事だ。エンジニアとして新たな価値の創造に挑戦する舞台が JNC にはある。

24時間つけていられる コンタクトレンズ をつくれなにか。

視力を矯正するだけでなく、今やファッションツールとしても利用されているコンタクトレンズ。この装着時間を長く快適なものにするために、各レンズメーカーが日々切磋琢磨している中、我々はその素材であるシリコンの特性に着目。当社独自の「サイラプレーン」という反応性シリコンを使うことで酸素透過性は格段に上がり、コンタクトレンズの性能向上の一助を果たしている。



自然 の力だけで 汚水を 浄化 せよ。

汚れてしまった湖沼は、程度はあるが自浄作用でバランスを取り戻す。我々はその不思議さに着目し理由の解明に挑んだ。そして誕生したのが、独自に開発した排水浄化システム「自然浄化法リアクターシステム®」である。自然界の持つ力を応用し、悪臭を抑えながら高濃度の排水を浄化する、汚泥から高価値のリサイクル資源を生むなど、サステナブルな社会の実現に貢献する技術である。この技術を磨き、我々は更なる価値提供を目指している。



息子・娘を
入りたい会社
ダイヤモンド・セレクト
2026年1月号から抜粋

120年の技術革新を礎に 挑戦を続ける化学メーカー



JNC株式会社

〒100-8105 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル9階
TEL: 03-3243-6380 (採用担当)
<https://www.jnc-corp.co.jp/>

JNCは120年の歴史を持つ化学メーカーである。そのルーツは1906年、創業者・野口達^{しやう}が鹿児島県曾木の滝に水力発電所を建設し、その電力を活用して08年に水俣でカーバイド製造を始めたことにさかのぼる。

戦前には朝鮮半島に進出し、当時、東洋一規模の水豊ダムを建設。従業員4万5000人を抱える巨大化学コンビナートを運営した。

「私たちは『技術のチッソ』と呼ばれてきました。技術力を核に機能化学品で勝負してきた会社です」と、浅野進社長は語る。「色純度が高い有機ELディスプレイ用青色発光材料においては、世界トップクラスの性能を



JNC
浅野 進代表取締役社長
社長執行役員

120年の 技術革新を礎に 挑戦を続ける 化学メーカー

JNCは、創業以来120年にわたり技術革新に挑み続けてきた化学メーカーである。液晶や有機EL材料、不織布、肥料など、多岐にわたる分野で人々の生活を支え、世界市場で存在感を示してきた。地域社会との共生を重視しながら未来を切り開いている。

誇り、従来開発・製造を行っている液晶と共に、日常生活に欠かせない家電製品の操作パネルや、スマートフォン、テレビ、自動車などのディスプレイ用途として広く使われています。また、熱融着技術を応用した不織布は紙おむつやマスクに利用され、使い心地や肌触りの向上に寄与。農業分野でも、必要な時期にだけ肥料成分が溶け出す被覆肥料を開発し、収量の安定化と環境負荷低減の両立を進めています。

こうした技術の裏には、現場で培われた強固なノウハウがある。生産技術、品質管理、設備

保全が総合的に発揮され、外部には容易にまねできない競争力を生み出している。

一方で、歴史の中では水俣病という痛ましい公害問題にも直面した。水俣病の原因企業であるチッソ株式会社（以下、チッソ）の事業部門を引き継ぎ、チッソグループの中核事業会社として設立された経緯がある。浅

野社長は「おわびの気持ちしかありません。認定された方々への補償はチッソが補償協定に基づき継続して実施しております」と真摯に語る。

JNCは、自社の技術を生かし持続可能な社会の実現に取り組みながら、安定的な事業運営を通じ、企業価値を高めるとともに、チッソが水俣病認定患者への継続補償などを行うために必要な配当を行う役割も担っている。

こうした背景はあるが、持続的な地域経済の発展や地域振興・交流にJNCは積極的だ。熊本県を中心に13の水力発電所

を運営し、水俣製造所のエネルギーを100%ノンカーボン化するとともに、余剰電力は電力会社を通じて一部水俣市に供給され、持続可能な地域社会を支えている。「水俣の海がきれいになったことを示すため、水俣市では美しい海に生息するタツノオトシゴをモチーフにした『ヒメタツバッジ』が作られました」と浅野社長。胸元には、再生と共生の証しともいえるバッジが輝いていた。さらに、地域行事への参加やインターンシップ受け入れを通じて若い世代との交流を図っている。水俣市に拠点を構える女子プロサッカーチームへのサポートを行うとともに、

水力発電リニューアル工事完了



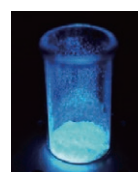
2011年~
次の
100年へ

2011年

JNC設立

2019年

超高色純度の有機ELディスプレイ用青色発光材料を開発



青色発光材料

水俣シリコン工場



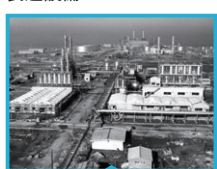
1973~2011年
先端化学
企業へ

1973年

液晶の製造設備完成



市原ポリプロピレン製造設備



1962~73年
石油化学
進出

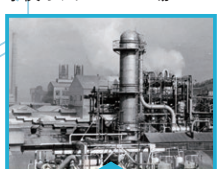
1963年

ポリプロピレンおよびポリプロ繊維の製造設備完成

1965年

チッソに改称

水俣オクタノール工場



1945~62年
戦後再建

1945年

戦後、全国のトップを切ってアンモニア肥料(硫安)の製造を再開
オクタノール、DOP、アセテートステープルの製造設備

1950年

新日本窒素肥料に改称

120年の歩み

水力発電所を竣工



1906~45年
創業期

1906年

曾木電気設立

1908年

日本窒素肥料に改称

創業者 野口 達



人事制度と評価制度を刷新、さらに働きやすい職場へ

JNC 人事部
山口久義部長

2025年度に人事制度を刷新しました。改革には三つの柱があります。第一に、年功序列的な要素を縮小し、年齢ではなく職務能力でステップアップできる仕組みに変えました。今後は評価次第で早期に次の段階へ進めます。第二に「総合コース」と「専属コース」を設けました。総合は全国や海外を舞台に幅広い経験を積み、専属は地域に根差して専門性を深めます。両コースは本人の希望で行き来ができ、育児期は専属、落ち着いたら再び総合で挑戦といった柔軟なキャリア設計も可能です。第三に、職能と職務を切り離しました。若手を早くから課長などの職務に登用し、結果が伴えば職能が追隨する仕組みにしました。責任ある仕事に挑戦することで成長を加速させます。

同時に評価制度も刷新。従来通り「目標管理・業績評価」と「職務行動評価」の2軸は維

持しつつ、目標管理にバランススコアカードの4視点「財務・顧客・業務プロセス改善・学習と成長」を導入、個人目標を会社の業績や方向性につなげています。一方で、職務行動評価には重要な行動基準を盛り込み、上司と部下が具体的なフィードバックを交わせるようにしました。

若手育成では4年目まで研修を継続し、キャリア面談やブラザー・シスター制度で中堅になるまで伴走します。技術系は、改善提案の発表などを通じて早期からの活躍を促しています。さらに若手が主体となって、社内横断イベントの「オールJNC交流会」や「隣の部署の仕事を知る」勉強会などを、自主的に開催しています。

当社は26年に創業120周年を迎えます。次の100年に向けて、技術力と柔軟性、そして人を大切にする風土をさらに育んでいきます。

一部の選手を社員として採用するなど、選手が地域で安心して暮らすための支援を行うことで、スポーツを通じた地域活性化にも積極的に取り組んでいる。

2025年は「Think & Act 2030 NEXT」を掲げ、天然由来の原料から製造される環境負荷の低い医薬製造工程向け製品や食品保存料などを扱うライフケミカル、コンタクトレンズの樹脂添加剤などに用いられ、近年ではPFAS（有機フッ素化合物）代替などでも注目を集め

上下関係に縛られない
フラットな組織文化

就活生にとって、同社の社風

も魅力的だ。家族的でフラットな組織文化があり、上下関係に縛られない。

浅野社長は、新人への期待をこう語る。「周囲を巻き込み、最後までやり遂げる意欲のある方にぜひ来ていただきたい。心理的安全性を大切にし、失敗しても責任はトップが取る。だからこそ失敗を恐れず挑戦ができる。安心して入社していただければ、育てるのは会社の役割だと考えています」

JNC株式会社

住所 〒100-8105
東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル9階

TEL 03-3243-6380 (採用担当直通)

✉ saio@jnc-corp.co.jp (採用担当)

🏠 https://www.jnc-corp.co.jp/

主な事業内容 高機能材料、アグリ・ライフノベーション、ケミカルマテリアル、グリーンエネルギー・エンジニアリング、商事

創業/設立年 2011年1月12日

資本金 311億5000万円

売上高 1467億円(連結)※2025年3月

従業員数 2566人(連結)

2025年度採用実績 22人

*2025年11月までの情報をまとめたものです

キラリと光る
ダイヤモンド企業